

- 母子健康手帳：月～金曜日、8:30～16:30(土・日曜日、祝日を除く)に随時、市役所健康推進課(保健センター)で交付します。
妊娠届出書(医療機関が発行したもの)、本人確認ができるもの(マイナンバーカード、運転免許証など)が必要です。
※保健師などとの面談があり、30～40分程度かかります。余裕をもってお越しください。
- 子育て相談：保健師による個別相談を行います。事前に市役所健康推進課に電話などでご予約ください。
- 歯みがき相談：歯科衛生士による個別相談を行います。事前に市役所健康推進課に電話などご予約ください。

乳幼児健診

乳幼児健診	実施日	受付時間	対象者	内容など	場 所
3～4か月児健康診査	6日(火)	13:00～13:40	対象者には個別通知でご案内します。	お子さんの誕生日により、受付時間が異なります。詳しくは個別通知をご覧ください。	保健センター(市役所3階)
1歳6か月児健康診査	19日(月)	13:00～13:50	1歳6～7カ月頃のお子さんを対象に個別通知します。		
2歳児ピカピカ教室	28日(水)	9:00～10:10	2歳3～4カ月頃のお子さんを対象に個別通知します。		
3歳児健康診査	8日(木)	13:00～13:50	3歳1～2カ月頃のお子さんを対象に個別通知します。		
離乳食講習会 ※希望の方は事前に予約が必要です。 3～4か月児健康診査でご案内します。	21日(水)	前期 9:10～9:20	生後5～6カ月頃のお子さん	管理栄養士による離乳食の講話、後期のみ歯科講話	
		後期 10:15～10:30	生後9カ月頃のお子さん	離乳食初期・中期の動画がご覧いただけます→	
ベビー&キッズ計測会	27日(火)	9:30～11:00	未就学児(0～6歳)	身体計測、発育相談、要予約(5日前まで)	
予防接種についておしらせ	※MR2期・日本脳炎2期・2種混合・ヒトパピローマウイルス感染症予防接種については対象の方へ個別通知をしています。 ※MR1期・水痘は1歳のお誕生日前日から接種できます。 ※おたふくかぜ予防接種(任意接種)費用助成事業の対象者には個別通知をしています。 詳しくは市ホームページ【令和6年度予防接種事業のご案内】をご覧ください。			予防接種の詳細はこちらからもご覧いただけます→	

支援事業

助成など	内 容	備 考
出産・子育て応援支援事業	安心して出産・子育てができるよう妊娠期から切れ目ない相談・支援を行う『伴走型相談支援』と『出産・子育て応援ギフト』(国の出産・子育て応援給付金)による経済的支援を実施します。母子健康手帳交付時に出産応援ギフト(5万円)、出産後に子育て応援ギフト(5万円)を給付します。 	詳しくは市ホームページ、市役所健康推進課へお問い合わせください。
アピアランスケア支援事業	がんの治療による脱毛や乳房切除に対するアピアランスケア用品(医療用ウィッグ・乳房補整具)購入費用の補助をします。 	
若年がん在宅療養支援事業	若年がん患者の在宅サービス等の費用の一部を補助します。 	

健康増進コラム

～第197回～

お子さんの食事について悩みがある…妊娠中の食事ってどうしたら…
栄養相談をしてみませんか？

食生活について管理栄養士に相談ができます。

ところ：保健センター(市役所3階)

と き：午前9時30分～11時30分 1回の相談時間は30分です。

持ち物：お子さんの場合は、母子健康手帳とバスタオル(身体計測で使用します)

対象者：未就学児(0歳～6歳)や妊婦の方

申し込み方法：開催日の5日前までに市役所健康推進課(保健センター)に電話でお申し込みください。

開催日：8月27日、9月24日、10月22日、11月26日、12月24日、1月28日、2月25日、3月18日

★妊婦以外の大人の方で栄養相談をご希望の場合は、お問い合わせください。

パパママ教室を開催します

- と き 9月11日(水)
午前9時30分～正午ごろ
(受付9時15分～)
- と こ ろ 保健センター(市役所3階)
- 対 象 者 市内在住の第1子を妊娠中で安定期の妊婦とそのパートナー
- 内 容 保健師による赤ちゃんのお世話の話、歯科衛生士による歯の話、沐浴体験、パパの妊婦体験など
- 申し込み方法 電話(定員に達し次第終了)
- 申 込 期 間 8月6日(火)～16日(金)

がん検診

個別がん検診

1000227

がん検診(胃・肺・大腸・前立腺・子宮・乳がん)・肝炎ウイルス検診：申込期間中に、希望の医療機関で直接予約を取り、検診票を受け取って受診ください。

検診場所 海部医師会など指定医療機関および海南病院(子宮・乳がん)

検診期間 10月31日(木)まで

持 ち 物 がん検診等受診券、保険証、検診料

申込期限 10月24日(木)※海南病院は10月11日(金)まで

※胃がん検診の内視鏡検査は、2年に1度の隔年受診です。

今年度受けると、翌年度は胃がん検診(内視鏡検査、バリウム検査とも)を受けることはできません。

集団検診(バス検診)

1005986

保健センターおよび検診バスにて集団検診を実施します。一度に複数の検診を同時に受けることができます。

申し込み方法 ウェブ予約または電話・窓口予約 平日午前8時30分～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)

申込期間 各検診日の10日前まで(土・日曜日、祝日を除く)

※ただし定員に達した場合は、申込期間内でも申し込みを締め切ります。

日 程 料金や注意事項は、広報やとみ6月号や市ホームページなどでご確認ください。

市ホームページ



総合がん検診(海南病院での健康診査)

1005987

追加募集(胃カメラへの変更不可)については、広報やとみ9月号で、ご覧ください。

歯の健康講座 8月号 その504

赤ちゃんの口腔機能育成(歯固めの役割)

生後数カ月の赤ちゃんは指しゃぶりやオモチャなめをしますが、これらの行動には意味があります。お口の機能である「食べること」「話すこと」は、学習によって得られるもので周囲の環境刺激によって発達が進むと言われています。

生後2～3カ月になると手を目の前に出す動作が見られるようになり、やがて手を口に持っていき、なめることで自分の身体の一部(自己)という認知や目と手、手と口の協調動作が発達していきます。生後3～4カ月になると指しゃぶりをし始め、オモチャを目の前に持っていくと、それを口に持っていく動作が見られるようになります。

生後4～5カ月になると物を握ることができるようになるので、手につかんだオモチャなどいろいろな物をなめたり、かんだりするようになります(非自己の認知)。この動作は口の位置を把握し、スプーンなどを用いて口に食物を運ぶためのトレーニングとなります。

したがって、この時期に歯固めを使用することは、触感覚が鋭い口を使ってなめたり、かんだりすることでさまざまな感覚(硬軟・圧・温度など)を効率的に学習することに役立ちます。また、食物を口に取り込むことだけでなく、歯ブラシなどを口の中に入れる感覚に慣れることができます。

このように口腔機能を育成するためには歯が生えてくる前からの学習が大切です。歯が生えていなくても歯科医院でお口の状態を診てもらおうといいでしょう。

令和7年
3月31日終了

HPVワクチンのキャッチアップ接種

キャッチアップ接種は、規定の接種間隔があるため、全3回の接種を公費(無料)で終えるためには、令和6年9月末までに、1回目の接種をする必要があります。接種希望の方はお早めに接種をお願いします。

HPVワクチンとは

・子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染を予防するワクチンです。

HPVワクチンキャッチアップ接種の対象者

・平成9年度生まれ～平成19年度生まれ(誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日)の女性でかつ過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない方

接種方法

実施医療機関でご予約ください。接種を受けるためには予診票が必要です。予診票がお手元にない場合は、再発行しますので、母子健康手帳をお持ちの上、市役所健康推進課までお越しください。詳しくは市ホームページをご覧ください。

ご注意

高校1年生(2008年4月2日～2009年4月1日生まれ)相当の女性の方も、公費接種の期限は令和7年3月31日までです。

市ホーム
ページ